４．本時の目標

○１年生や友だちとは違う思いや気付きを知り、これまでの学びや経験とつなぎながら、考えることができる。（協働的実践力・創造的実践力）

５．本時の展開

活動内容	子どもの意識の連続性	評価（○）と支援（◆）
	めあて：ヒメちゃんとのこれからを考えよう	
１．本時のめあてを確認する。 ●今まで、１年生に発信してきた内容や１年生のお世話を一緒にしてきた様子から、お世話を続けてきた２年生として話を共有することを確認する。 ●実際にヒメちゃんのお世話を体験した一年生から、今の思いを聞くことを確認する。	１年生、上手にお世話できていたよ。ヒメちゃんも嬉しそうだったよ。 困ったこともあったと思うので、何かあったら今日教えてあげられたらうれしいな。 １年生がよく話を聞いてやさしくヒメちゃんにしてくれてうれしかったよ。	◆１年生とお世話体験を南運動場で実際に確認しながらふりかえる。 ◆命あるもののお世話をする責任をしっかりと確認したうえで、めあての確認をする。
２．学年で分かれて話し合う。 ●１年生と一緒にお世話をする中で、２年生から見て気付いたことや感じたことを話し合う。	１年生、こわがっている子もいたけれど、お世話した後は楽しかったって言ってくれてうれしかったな。 １年生、ふんをとるのが難しそうだったな。臭くていやって言っている子もいたな。続けてできるかな。	◆まず、学年別に話をすることによって本音を引き出しやすくし、現状を把握する。 ◆学年が混じり合い、自由に話ができる場を設定する。 ◆教師は把握した思いをつなげるファシリテーターの役割を担う。
３．全員で自由に話し合う。 ●１年生から、お世話の体験をしてみて、感じたことや疑問等正直な気持ちを聞く。 ●１年生の今の素直な思いや考え、疑問などを聞き、２年生として１年生の思いを受けて話し合いをする。	お世話が続けられるか心配だから３年生になっても少しだけ手伝ってほしいって言ってくれた。また３年生でも一緒にお世話できたらうれしいな。 休み時間遊びたいからお世話がいやって言ったけれど、私も初めはそうだったよ。でもやっていったら、お世話の方が楽しくなっていくよ。 大きくてこわいっていうのはわかるな。でも、だんだんとなれていくよ。	◆２年生が１年生の時の思いを振り返られるよう写真や資料を用意しておく。 ○１年生や友だちと関わりながら、自分とは違う思いや考えに気付いている。 （協働的実践力） ○これまでの学びや経験を思い出し、関連させて考えている。（創造的実践力）
４．活動をふりかえる。 ●本時の活動をふりかえり、今後の活動の見通しを立てる。	１年生、こわいと思っている子もまだいたな。ヒメちゃんはそれでも嬉しいかな 思いを聞けたので、１年生と一緒にヒメちゃんにとって一番いいお世話の方法を考えていきたいな。	◆お互いの思いを知った上で、これからどうしていくのがよいか考えられるようにする。